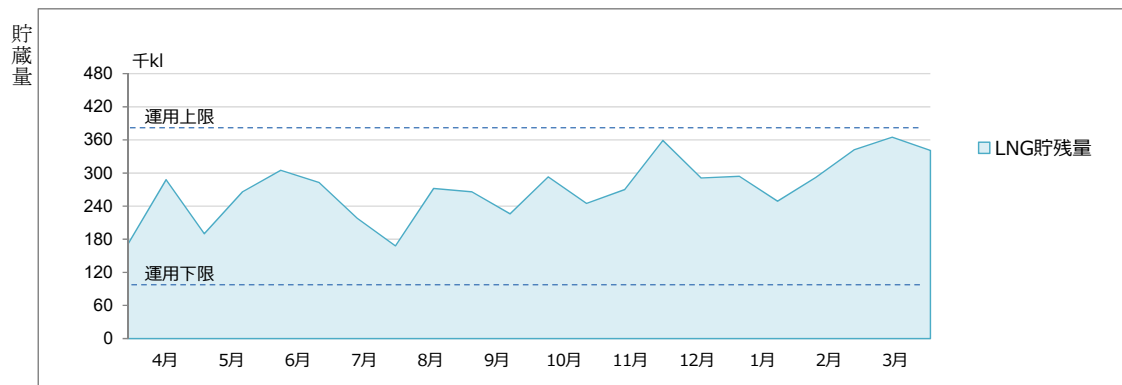


液化ガス貯蔵設備の容量等

以下は、ガス事業法 第 90 条第 1 項及び施行規則 第 142 条に基づき、公表するものです。

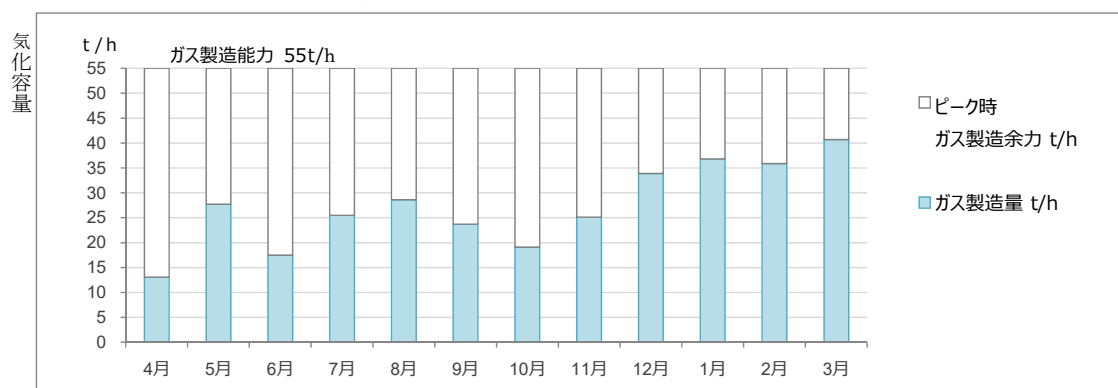
1 液化ガス貯蔵設備における液化ガスの貯蔵イメージ



- ・上図は、戸畑基地の LNG 貯蔵余力イメージを表したものです。なお、LNG 貯蔵量については、LNG 受入状況、電気事業者等の需要動向、定期的または予定外の設備工事等により変動します。
- ・2019 年 3 月末時点では、一般的な LNG 船 1 隻(約 6 万ト)を受け入れられるだけのルームレント余力はございません。また、ルームシェア方式は条件次第でご利用可能※となっております。詳細に関しましては別途お問い合わせください。

※配船調整及び LNG の賃借を前提に、年度終了時に在庫が 0 となるよう、年間を通して一定の割合で払出を行う場合で、一般的な LNG 船 1 隻程度 (6 万ト/年、13 万 kl/年) ご利用可能であることが見込まれます。

2 ガス発生設備におけるガス製造イメージ



- ・上図は、戸畑基地のガス製造余力イメージを表したものです。なお、既存一般ガス導管事業者の需要動向、定期的または予定外の設備工事等により変動します。詳細に関しましては、別途お問い合わせください。

3 基地利用希望者が利用できる船舶種類及び船型並びに液化ガスの種類及び品質

(1) 船舶種類及び船型

①最大要目

船型	タンク積載量 (トン)	総トン数 (トン)	排水トン数 (トン)	載貨重量 (トン)	全長 (m)	型幅 (m)	型深 (m)	満載喫水 (m)
メンブレン型	17.3 万m ³ 級	110,920	122,339 (夏期満載)	90,617	295.0	46.5	26.6	11.74
			112,823 (通常運航)					
モス型	14.5 万m ³ 級	123,000	118,420 (夏期満載)	81,032	297.5	49.0	27.0	11.74
			112,823 (通常運航)					

②最小要目

船型	タンク積載量 (トン)	総トン数 (トン)	排水トン数 (トン)	載貨重量 (トン)	全長 (m)	型幅 (m)	型深 (m)	満載喫水 (m)
モス型	12.5 万m ³ 級	102,330	99,890 (夏期満載)	69,594	283.0	44.8	25.0	11.52

(2) 液化ガス種類及び品質

①液化ガス種類・・・液化天然ガス（LNG）

②品質の目安

組成	メタン	83.00 モル%以上
	ブタン以上※	2.00 モル%以下
	ペンタン以上※	0.10 モル%以下
	窒素	1.00 モル%以下
	※ブタン以上とはブタン以上の重質炭化水素(ペンタン以上を含む)、 ペンタン以上とは、ペンタン以上の重質炭化水素を指します。	
発熱量	42.00～45.00MJ/m ³ N	
その他	硫化水素	標準立方メートルあたり 4.8mg 以下
	全硫黄	標準立方メートルあたり 28mg 以下
	固形又はその他の不純物及び異物を含まないこと	

受入れることができるLNGの品質は、個別の利用条件によって異なるため、上記数値は目安とします。

4 配船計画の策定期間の見通し

	n-1 年度												n 年度
	4 月	...	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	
ガス受託製造検討 スケジュール				[8 月末] 基地利用申込期限				[12 月末] 基地利用検討結果通知		基地利用契約協議			基地利用開始
既存事業者 配船計画 スケジュール			[7 月末] n 年度配船計画 協議開始		[9 月末] n 年度売主提案配船計画 1 次案受領			[12 月末] n 年度配船計画 仮合意		[2 月末] n 年度配船計画 合意			

なお、上記内容を事前の予告なく変更することがあり、この場合、戸畑基地の液化ガス貯蔵設備の容量等については、変更後の内容によります。